UNI-PEX

取扱説明書(保証書付)

非常用リレーボックス
RBR-3110

このたびは、非常用リレーボックスをお買い上げいただき、
誠にありがとうございます。

目　次

安全上のご注意・・・・・・・・・・・・・・・・・1〜3
設置・使用上のご注意・・・・・・・・・・・・・・・3
免責事項について・・・・・・・・・・・・・・・・・3
本機を長期間お使いの場合は・・・・・・・・・・・・3
特長・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
各部の名称と説明・・・・・・・・・・・・・・・・・4
本機を使ったシステムの組み方・・・・・・・・・・・4
制御線の接続方法・・・・・・・・・・・・・・・・・5〜6
動作確認のしかた・・・・・・・・・・・・・・・・・6
ラックマウントのしかた・・・・・・・・・・・・・・7
故障と思う前に・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
定格・付属品・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8
外観寸法図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8
連絡先のご案内/保証書・・・・・・・・・・・・・・8

安全上のご注意　必ずお守りください

●設置工事の前に必ず、この「安全上のご注意」と工事、取扱方法に関する説明をよくお読みの上、正しく設置してください。
●お読みになったあとは、必ず保存してください。

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例

△記号は注意(危険・警告)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。左図の場合は一般的な行為を指示する表示です。

⚠警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

異常が起きたときは、ただちに使用をやめる

煙が出ている、においや音がする、水や異物が入った、落として破損したなど、火災・感電の原因となります。ただちに電源プラグをコンセントから抜いて、販売店または工事店にご連絡ください。

工事は工事店に依頼する

工事には、技術と経験が必要です。、火災・感電、けが、器物損壊の原因となります。工事店にご相談ください。

分解／改造はしない

火災・感電の原因となります。点検および配線時以外にこの機器の裏ぶた、カバーなどは絶対に外さないください。内部の点検・整備・修理は保守契約店または工事店にご依頼ください。

間隔をおいて設置する

内部に熱がこもり火災の原因となります。また、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、すきまをあけてください。

異物を入れない

水や金属が内部に入ると、火災・感電の原因となります。ただちに分電盤の電源を切って、保守契約店または工事店にご連絡ください。

この機器の上に花瓶など水の入ったものを置かない

こぼれたり中に水が入った場合、火災・感電の原因となります。

決められたヒューズを使う

規定以外のヒューズを使うと火災の原因となります。

定期的に点検をする

非常時に作動しないと、火災や災害を拡大する原因となります。点検は保守契約店または工事店にご依頼ください。

⚠注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気が当たるような場所に置かない

火災・感電の原因となることがあります。

不安定な場所に置かない

落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

重量に耐える場所に取り付け、設置をする

取付場所の強度が不充分なとき、転倒等により、けがや破損の原因となることがあります。

表示された電源電圧以外の電圧で使用しない

火災・感電の原因となります。

電源プラグのほこりなどは定期的に取り除く

プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。定期的に電源プラグを抜き、乾いた布などで拭きとってください。

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない

コードが傷つき、火災、感電の原因となります。必ずプラグを持って抜いてください。

⚠注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

電源コードを傷つけない

電源コードの上に重いものをのせたり、無理に曲げたり、ねじったり、引張ったりすると、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線)販売店などに交換をご依頼ください。

移動するときは、コード類を傷つけない

火災、感電の原因となることがあります。移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから行ってください。

雷が鳴り出したら、アンテナ線、スピーカー線には触れない

感電の原因となります。

機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読みください。機器の接続は保守契約店または工事店にご依頼ください。

設置・使用上のご注意

●EIAラックに組み込む場合は、本機と電力アンプの間には必ず、1U以上の間隔を開けてください。
別売の換気パネル RIB-1F(別売品)を取り付けることをおすすめします。
●次のような場所では使用しないでください。誤動作、故障、漏電の原因になります。
・使用湿度範囲をこえる85%以上の場所／屋外などの雨や日光に直接当たる場所／結露が生じる場所／激しい振動や衝撃が発生する場所
●本機を雑音発生の原因になる機器※の近くには設置しないでください。
※高周波機器(乾燥機、医療機器など)、電気溶接機、ブラッシングモーター、自動車の通る道、携帯電話機、デジタル機器(コンピューター、電子楽器など)、空気清浄器。

遮断装置について

●本機には電源スイッチがありませんので、本機の電源プラグが遮断装置になります。
●本機は遮断装置へ容易に手が届くように、電源コンセントの近くに設置してください。
●ラックなどに組込む場合は3mm以上の接点距離を有する電源スイッチまたは、配線用遮断器を設置してください。更に、それらは保護アース導体を除く、主電源のすべての極が遮断できなければなりません。

免責事項について

当社は下記の事項に関して一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
①お客さまの故意、過失、誤用、その他異常な条件下での使用による損害または本製品の破損など
②本製品に直接または間接に関連して生じた、偶発的、特殊的、または結果的損害・被害
③本製品のお客さまご自身による修理、分解または改造が行なわれた場合、それに起因するかどうかを問わず、発生した一切の故障または不具合により生じた損害
④本製品の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、使用ができないことなどによる不便・損害・被害
⑤第三者の機器と組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害

本機を長期間お使いの場合は

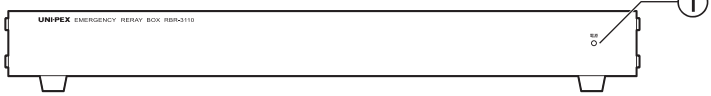
本機を安全に使用していただくために、販売店または工事業者による定期的な点検をおすすめします。
外観上は異常がなくても、使用条件によっては部品が著しく劣化している可能性があり故障したり、事故の原因となることがあります。下記❶〜❹の様な状態ではないか日常的に確認してください。もしその様な状態を発見されましたら直ちに電源を切り(使用中止)、販売店または工事業者に点検や撤去をご依頼ください。
特に10年を超えて使用されている場合は、定期点検の回数を増やしていただくとともに買い換えの検討をお願いします。
❶煙が出たり、こげ臭いにおいや異常な音がしている。 ❷電源コード・電源プラグが異常に熱い。または亀裂や傷がある。
❸本機に触れるとビリビリと電気を感じる。 ❹電源を入れても音が出てこない、その他の異常・故障がある。

特　長

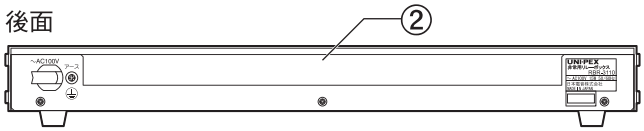
□本機を使用することで、非常放送と業務放送で、スピーカー回線が共用可能になります。
□10回線のスピーカー回線を制御可能です。

各部の名称と説明

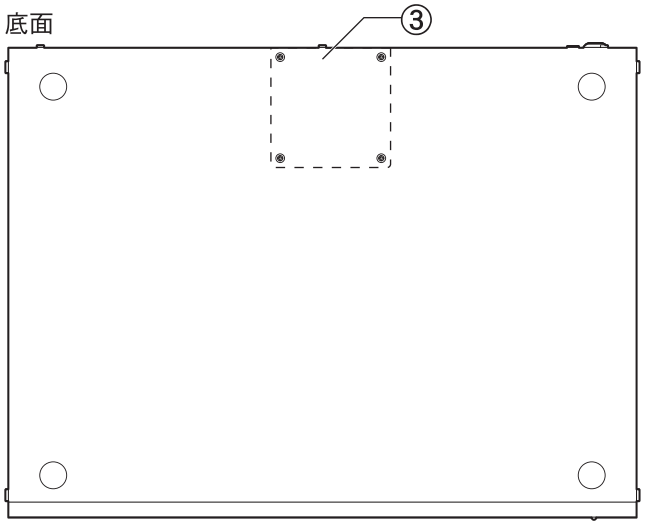
前面



後面



底面



① 電源表示灯（緑色）
・常用電源（AC100V）が正常に供給されているとき点灯します。

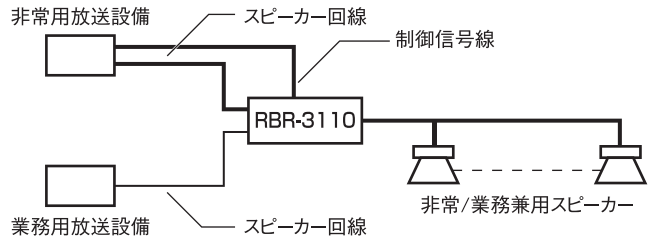
② 配線孔（背面）
・ここから配線を引き出します。

③ 配線孔（底面）
・ここから配線を引き出します。ご使用の際は、配線孔をふさぐ板をはずしてください。

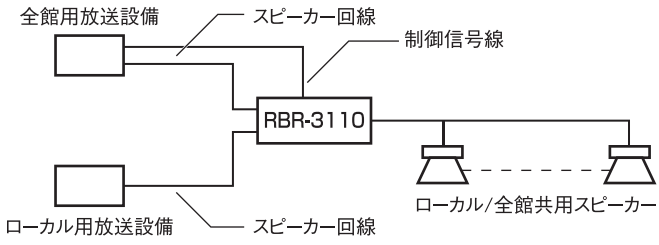
本機を使ったシステムの組み方

本機を使用することにより、下図のようにスピーカーを非常用と業務用、あるいはローカル用と全館用に共用して使用できます。

■ 非常用と業務用



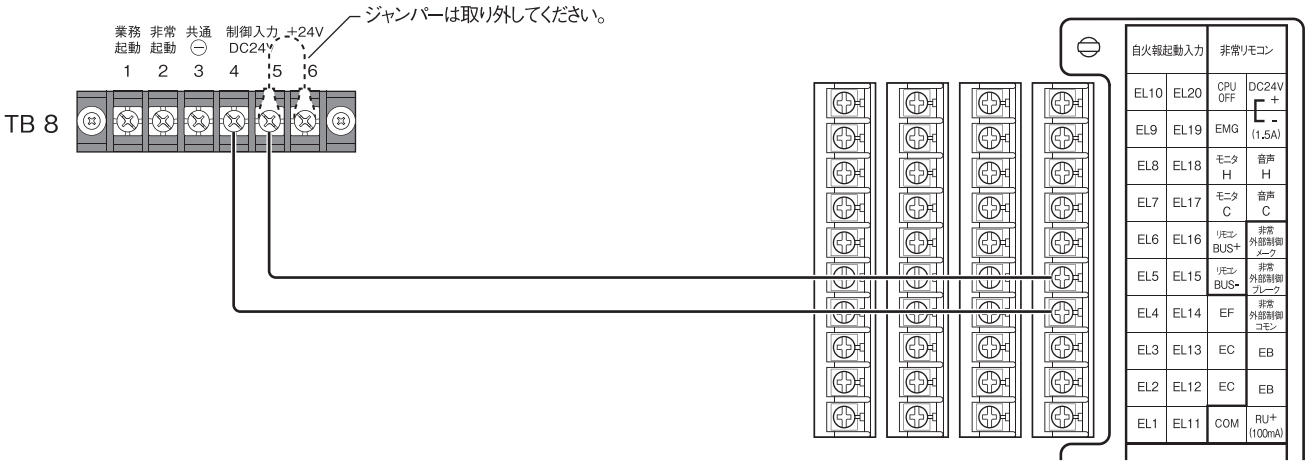
■ ローカル用と全館用



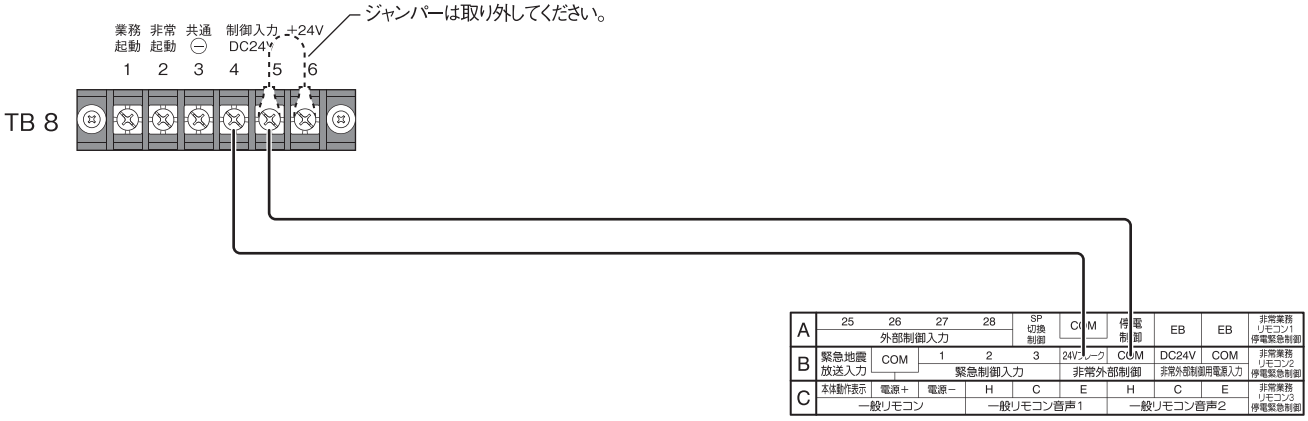
ご注意
スピーカーおよびスピーカーに至る配線（図に太線で示した部分）は消防法に適合（耐熱電線使用など）していなければなりません。

制御線の接続方法

■ EWAシリーズとの接続方法

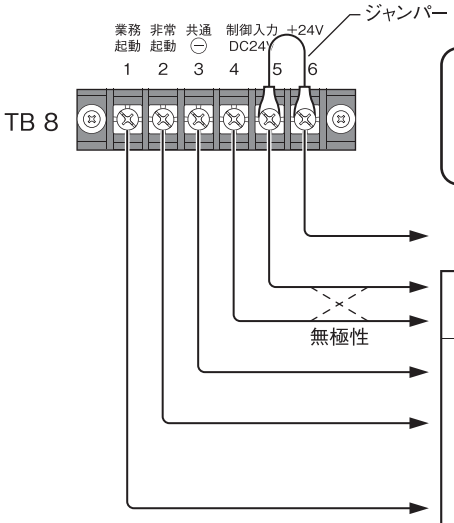


■ EL-3000シリーズとの接続方法


ジャンパーは取り外してください。
業務起動 1
非常起動 2
共通 ⊖ 3
制御入力 DC24V 4
+24V 5
6
TB 8
A 25 26 27 28 外部制御入力 SP切換制御 COM 停電制御 EB EB 非常業務リモコン1 停電緊急制御
B 緊急地震放送入力 COM 1 2 3 緊急制御入力 24Vリーク COM 非常外部制御 DC24V COM 非常外部制御用電源入力 非常業務リモコン2 停電緊急制御
C 本体動作表示 電源+ 電源− 一般リモコン H C 一般リモコン音声1 E H C E 一般リモコン音声2 非常業務リモコン3 停電緊急制御

RJK-3300（TB-802）

■ その他の機器との接続方法



ご注意

DC24V 断方式でご使用の場合は、このジャンパーを外してください。
無電圧メイク接点方式でご使用の場合は、このジャンパーは接続したままでご使用下さい。

DC24V 出力（この電源は外部の制御に使用しないでください。）

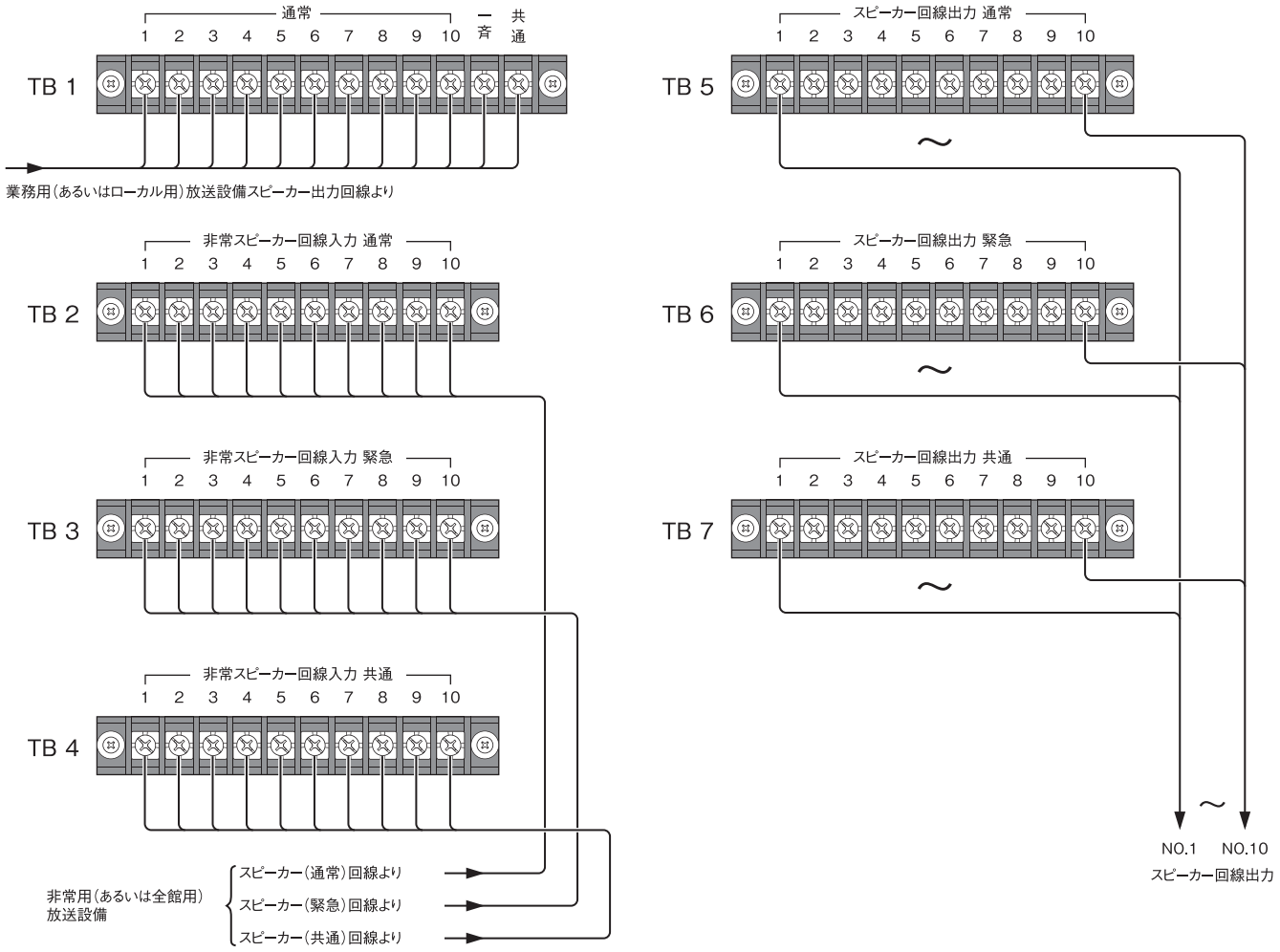
非常時OFFとなる電源DC24V出力端子へ	DC24V 断方式の場合は、この端子に接続してください。
共通端子へ 非常起動端子（非常時マイナス制御される端子）へ ※非常放送時、スピーカー回線を切り替えるとき接続します。 業務起動端子（業務放送時、マイナス制御される端子）へ ※業務放送時（全館放送等）にスピーカー回線を全館放送に切り替えるとき接続します。	無電圧メイク接点方式の場合は、この端子に接続してください。

ご注意

くわしくは非常用放送設備および業務用放送設備の取扱説明書あるいは工事説明書をご参照ください。

制御線の接続方法

■ スピーカー回線の接続方法



動作確認のしかた

■ 接続が終わったら

本機の電源を入れてください。電源表示灯が点灯します。
非常用放送設備（あるいは全館用放送設備）、業務用放送設備（あるいはローカル用放送設備）の電源を入れてください。

■ 動作の確認のしかた

スピーカー回線を非常用と業務用に共用のシステムの場合

●通常、スピーカーは業務用放送設備に切り替っています。業務用放送設備から業務放送を流し、スピーカーから放送されることを確認してください。

●非常放送設備の非常起動をかけると、スピーカー回線は非常放送設備側に切り替ります。非常放送がスピーカーから放送されることを確認してください。非常放送設備からの放送を終了し復旧させると、もとの業務放送設備の放送に切り替ります。

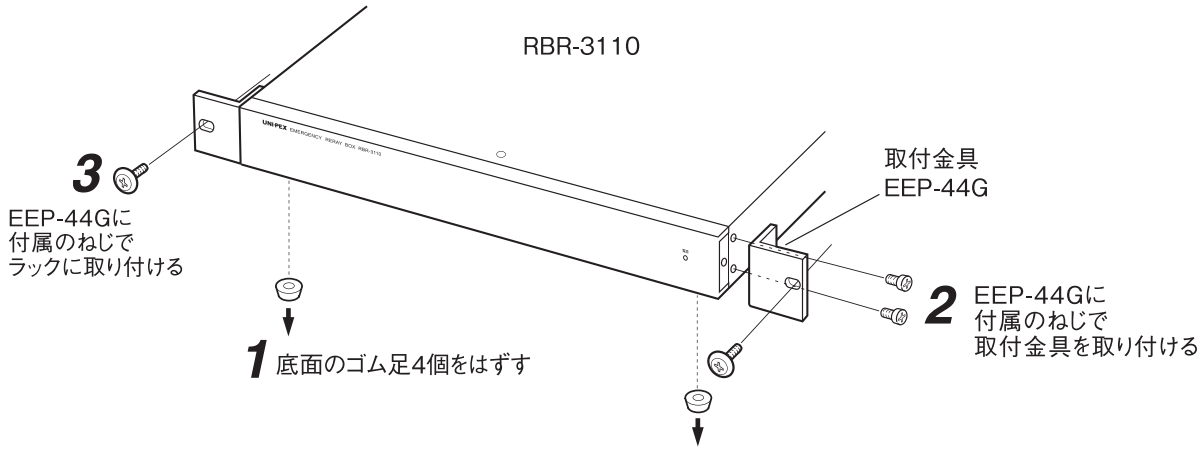
スピーカー回線をローカル用と全館用に共用のシステムの場合

●通常、スピーカー回線はローカル用放送設備側に切り替っています。ローカル用放送設備から放送を流し、スピーカーから放送されることを確認してください。

●全館用放送設備から放送の操作をすると、スピーカー回線は全館用放送設備側に切り替ります。全館放送がスピーカーから流れることを確認してください。全館用放送設備からの放送を終了し復旧させると、もとのローカル用放送設備の放送に切り替ります。

ラックマウントのしかた

EIA規格ラックに本機を取り付ける場合は、別売のEIAラック用取付金具EEP-44Gで、下図のように取り付けてください。



1 ゴム足（4カ所）をはずします。

2 本機の両端にラック用取付金具EEP-44G（別売）を取り付けます。
EEP-44Gに付属のねじ（4本）で確実に固定してください。

3 本機をラックに取り付け、EEP-44Gに付属のラック取付ねじ（2本）で固定します。

故障と思う前に

ほんのちょっとしたことで正常に動作せず、故障かな?と思うことがあります。次の要領で点検してみてください。

⚠ 警告

- ●次の方法で点検されても正常に動作しないとき、または使用中に急に異常が発生したときは、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。煙などの異常が無いことを確認し、販売店などへご連絡ください。
- **●本機は絶対に分解しないでください。感電の恐れがあります。修理は、必ず販売店などにご依頼ください。**

症　　状	点　検　項　目	処　　置
電源が入らない。 電源表示灯が点灯しない。	主電源（AC100V）供給元のブレーカーが作動していませんか。	ブレーカーを「入」にしてください。
音が全く出ない。	スピーカーのアッテネーターが「OFF」になっていませんか。	スピーカーアッテネーターを1、2、3のいずれかの適正な位置にセットします。
	配線が外れていませんか。	接続を確認してください。
音が時々途切れる。	その入力機器の接続コードが断線しかかっていませんか。	接続コードの交換・手直しをしてください。

（注）これらの原因調査や交換は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

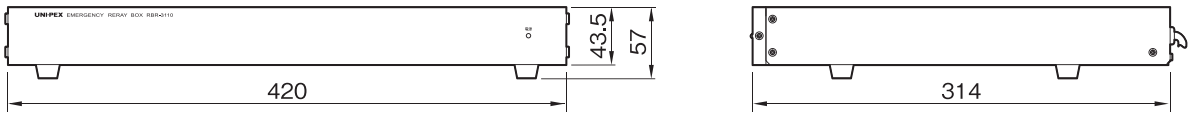
定　格

電　　源	AC100V 50Hz / 60Hz
消　費　電　力	15W
スピーカー入力	業務入力:個別10回線、一斉、共通各1回線 非常入力:10回線(通常、緊急、共通)
スピーカー出力	10回線(通常、緊急、共通)
スピーカー回線容量	300W / 回路以下
制　御　方　式	DC24V「断」信号による自動切換あるいはメイク接点信号による自動切換
制　御　信　号	DC24V「断」信号、制御電流　約DC4mA
優　先　順　位	1.非常入力回路　2.業務入力回路
動　作　表　示	電源表示灯(緑)
仕　　上　　げ	パネル、ケース:マンセルN4.5　近似色グレー
寸　　法	幅420mm　高さ57mm　奥行314mm
質　　量	5.1kg

■ 付属品

取扱説明書(保証書付)・・・・・1
アース線・・・・・・・・・・・・1
アース線止めねじ(M4×8)・・・・1
機器受金具・・・・・・・・・・・2
機器受金具止めねじ(M4×8)・・・4

外観寸法図(単位mm)



非常用リレーボックス RBR-3110 保証書

製造番号	
保証期間	お買い上げ日 平成　　年　　月　　日より 電子回路部1年、ケース(外装部)6ヶ月
お客様	お名前　　様 ご住所〒 電話(　　)　　-
販売店	店名・住所　　印 電話(　　)　　-

複写

本書は本書記載内容で無料修理を行なうことを保証するものです。
お買い上げの日から上記期間内に故障が発生した場合は本書を提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

製造元 日本電音株式会社
発売元 ユニペックス株式会社

保証規定

この保証書は日本国内においてのみ有効です。この保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
(This warranty is valid only in Japan)

無料修理保証の範囲

①保証期間内において、取扱説明書などに従った正常な使用状態において故障した場合に無料で修理いたします。
②修理の際は必ず保証書の提示があること。
③当保証書の所定項目に必要事項が記入され、故意に字句を訂正していないこと。

無料修理保証の免責範囲

(次のような場合は保証期間内でも有料修理となります。)
①使用上の誤り及びお取扱いの乱用などによる故障、磨耗。
②不当な修理改造による故障、損傷。
③正常なご使用でも、消耗部品の自然消耗、磨耗、劣化によるもの。
④お買上げ後の落下、傷など、お取り扱い上に起因するもの。
⑤火災、水害、落雷、地震、その他の天災によるもの。また塩害、有毒ガス、異常電圧などが原因の損傷。
⑥故障の原因が本製品以外の機器の影響によるもの。
⑦常識的に正常な動作状態であるにもかかわらず、修理または部品交換などの要求をされる場合。

RKTRBR3110-H0-0